

インフラメンテナンス予算の確保について

【国土交通省、農林水産省】

長野県の状況

老朽化する社会基盤施設の適切な維持管理・更新が急務

建設後50年を経過する社会基盤施設が、平成45年には道路橋の約67%、トンネルの約50%、河川管理施設（水門等）の約64%に達する見込みであるなどその対策が急務。

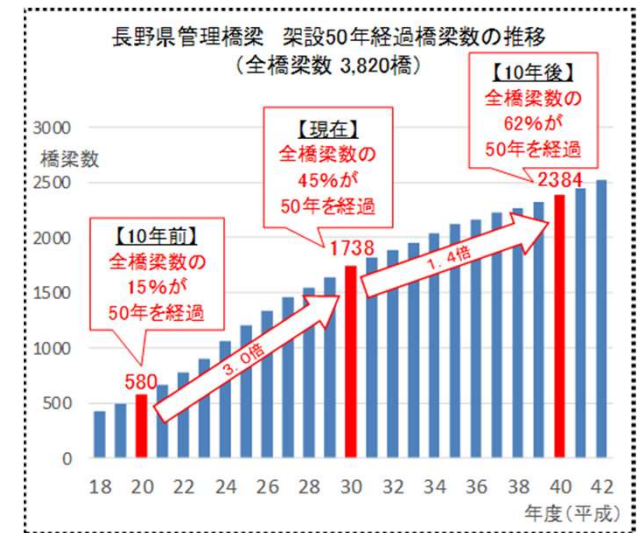
現況

道路施設

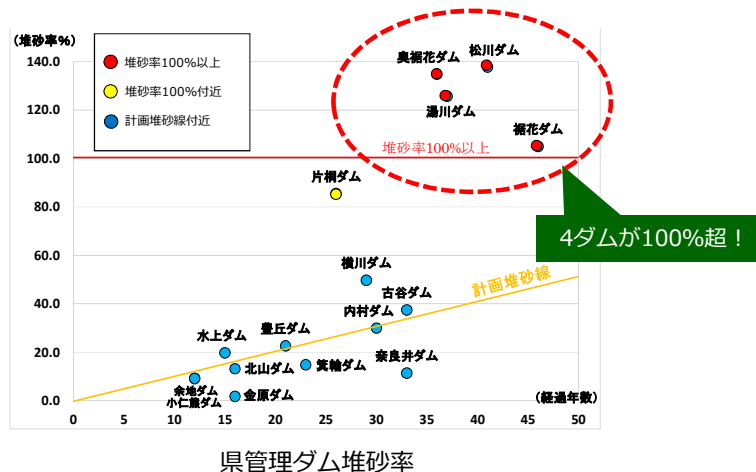
- ・ 橋梁・トンネル等の法定点検は平成30年度で一巡目が完了予定
- ・ 現在までの点検結果によると、橋梁では約22%が早期に措置を講ずべき状態
- ・ 今後5年間で、県管理橋梁の約840橋もの修繕が必要になると想定

県管理河川及びダムでの堆積土砂・支障木除去対策

- ・ 平成30年7月豪雨では、西日本で河川内の堆積土砂や支障木による被害が拡大
- ・ 本県でも河川内の堆積土砂や支障木によって流下能力が不足している河川が多数
- ・ 県営4ダムでは計画堆砂量を越える堆砂の進行



河川内の堆積土及び立木の状況



奥花ダムの堆砂状況

公園施設

- 公園施設老朽化対策を含む都市公園の整備を県内14市町村と共に実施



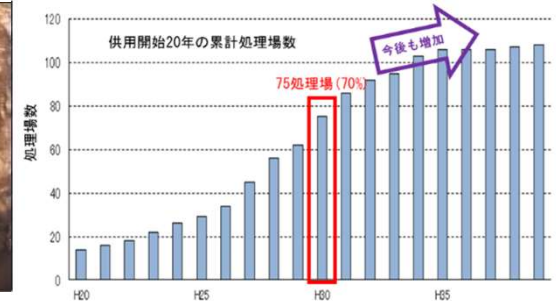
遊具の老朽化状況

下水道施設

- 下水処理場は代替がきかない施設のため、故障時は日常生活や社会活動に重大な影響を与え、河川湖沼等の水質悪化も誘発



下水管の硫化水素による腐食状況



県内の処理場は108(全国第3位)あり、約7割が耐用年数超過

砂防・治山施設

- 平成30年7月豪雨を受け、石積砂防堰堤の緊急改修を実施。(～H32)
- 治山施設の長寿命化対策を計画的に実施

砂防、地すべり、急傾斜の施設は19,000以上
治山施設は25,000以上

課題

適切かつ計画的な維持管理・更新を進めて行くための財源及び予算の確保が大きな課題



石積堰堤の破損事例



砂防堰堤の基礎洗掘

提案・要望

1 道路施設

道路施設の維持修繕を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと。

2 河川施設

平成30年7月豪雨による西日本での被災を踏まえ、洪水時に支障となる河川内やダムにおける堆積土砂や支障木の除去を緊急的・重点的に行うための財政支援を行うこと。

3 公園施設

公園施設の更新及び改修を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと。

4 下水道施設

下水道施設の持続的な維持管理のため、ストックマネジメント計画に基づく老朽化施設改築更新費を確保し、適切な財政支援を行うこと。

5 砂防・治山施設

砂防・治山施設の維持管理を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと。